

地図と測量の公開講座

「位置基準」(第1回)

—座標とその実現—

どこかで待ち合わせするには、「何処」と「いつ」をいわずにはなりません。何処については緯度、経度、高さのように3つの量、いつについては何年何月何日の何時というように1つの量と、合わせて4量を指定します。これらを座標といいます。

座標の定義をしたら、実際にこうすれば測れるよということを書いて、初めてその定義が役に立ちます。測り方とそれに必要な材料を示すことを実現といいます。実は測量は定義、実現いずれにも大変重要な役割を果たしていることについて紹介し、合わせて、高精度で信頼できる基準の維持のための宇宙技術や重力の測定について、また時間変化を適切に取り扱う努力などについても簡単にお話しします。

測量はテクノロジーとロマンの世界なのです。

■ 日時 令和5年1月18日(水) 16:00~17:30

※講演:16:00~17:00/質疑応答:17:00~17:30

■ 会場 (公社)日本測量協会 研修室(東京都文京区小石川一丁目5番1号)

■ 講師 海津 優 氏 一般財団法人測量専門教育センター専務理事、
一般財団法人日本地図センター地図研究所主任研究員

参加費 無料

CPDポイント 測量CPD1ポイント

定員20名

申込み方法

[こちらをクリックして、受付システムによりお申込みください](#)

申込み〆切日 1月6日(金)

(定員になり次第締め切らせていただきます)

お問い合わせ メール: open-ic@jsurvey.jp

Tel:03-5684-3357 (担当:遠藤 拓郎)